

## 「滋賀の医療福祉を守り育てる」 県民フォーラム

日時：令和2年11月28日（土）  
場所：栗東芸術文化会館さくら 大ホール



あなたは「人生最期のとき」を、どこで、どのように迎えたいですか？  
今年度の県民フォーラムは、このテーマを一人でも多くの方に考えていただけるきっかけになればと、狂言や落語といった日本の伝統芸能を取り入れて開催しました。  
春先から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場定員の制限、全席指定、入場時の検温と手指消毒の実施、ソーシャルディスタンスの確保、もしサポ滋賀の導入、スタッフはマスク・ビニル手袋・フェイスシールドの着用など様々な対策を施し、会場には269名の方に参加していただくことができました。また、初めて試みたYouTubeの同時配信の再生回数は170回となり、盛会のうちに終わることができましたことをご報告いたします。  
参加くださった皆様、ありがとうございました！

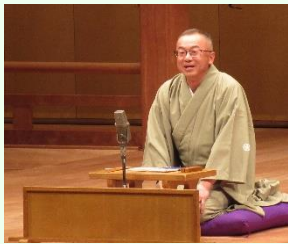
### 【壺】狂言「腰折(こしいのり)」

出演：茂山千五郎家  
(茂山千三郎さん、茂山宗彦さん、鈴木実さん)



### 【貳】落語「笑いは心のくすり」

出演：社会人落語家(薬剤師)井筒屋 磯七さん



### 【参】看取りあるある！お話会「みどりの部屋」

司会・進行：みどりちゃん(堤 裕子さん)  
出演：茂山宗彦さん、鈴木実さん  
瀧波 信之さん(介護福祉士・当会議会員)  
磯矢 毅さん(薬剤師)



### 参加者の声



- ☆狂言や落語という切り口から介護を扱っていたのは新鮮でした。医療福祉を守り育てるために、広くいろんな人にも理解してもらうことは、介護療養環境が良くなるのでとても良いです。(医療福祉関係・60歳代・女性)
- ☆狂言や落語を生で見るのは初めてでしたが、話を聞くだけよりイメージしやすく面白かったです。(一般県民・20歳代・女性)
- ☆まだ先の話のように思えますが、その時のために準備しておくことは大切だなと感じました。(一般県民・20歳代・女性)
- ☆湿っぽくならず明るく、社会資源を使って看取れる可能性を改めて考えることができました。(一般県民・70歳代・女性)
- ☆お話を伺う中で在宅療養を知って、活用するための最初の窓口が一般の方にとってはどうしても敷居が高いように感じました。在宅医療の認知の向上の必要性を改めて感じました。(医療福祉関係・30歳代・男性)
- ☆施設での看取りでもいざとなると迷われる家族がよく見られます。このように看取りについて一般の方に考えてもらえる機会ありがたいです。このような機会を増やしてほしい。(医療福祉関係・40歳代・女性)
- ☆在宅療養におけるご家族へのケアも大事と思います。(医療福祉関係・60歳代・女性)
- ☆YouTubeで視聴しましたが、とても見やすく、会場にいるような臨場感でした。(行政関係・40歳代・男性)

### 【第89回ワーキンググループ会議 (WEB)】

テーマ：「排尿サポーター育成講座」  
話題提供者：滋賀県排尿支援プロジェクト企画検討会議 委員  
NPO快適な排尿をめざす全国ネットの会 理事  
山口 昌子さん  
アドバイザー：彦根市立病院地域連携センター長 北川 智美さん  
日時：令和2年12月24日(木) 18:30~19:45

### 【第90回ワーキンググループ会議 (WEB)】

テーマ：「ホスピス医師が在宅みとりを動めてみた  
~みとった25人の事例から教わったこと~」  
話題提供者：ヴォーリス記念病院 緩和ケア科 奥野 貴史 さん  
日時：令和3年1月28日(木) 18:30~19:45



ご意見お待ちしております！

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 金岡・西浦  
TEL:077-528-3529/FAX:077-528-4851/E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp